

2024年4月1日

神戸学園都市 YMCA こども園 4月えんだより

年主題「さあ、漕ぎ出そう 奏でよう」

年間主題聖句「わたしは道であり、真理であり、命である。」

ヨハネによる福音書 14章6節

数日前、我が家の前に広がる里山からウグイスの声が聞こえてきました。つい3週間ほど前には、冬鳥と言われるジョウビタキが庭先に姿を現していたのですが、一日一日と春の歩みが進んでいるようです。新しく入園された皆様、そして、それぞれに進級された皆様、おめでとうございます。

「ポー、ポー、ポー。」港を出港する船は、汽笛を3回鳴らすという話を聞いたことがあります。しかし、この汽笛3回は本来「出港」の合図ではなく、船の運航ルール上は「後進」の合図とされています。多くの船は、出港の際に後進で棧橋を離れることが多いことから「汽笛3回は出港」と捉えられているようです。また、客船や練習船などでは出港の際に、見送りの人びとへのお別れの挨拶として汽笛を鳴らしたり、ドックで整備された船からドック関係者などが下船する際に、整備していただいたことへの感謝と、新たな旅立ちへの決意を込めて汽笛が鳴らされたりすることもあるそうです。

「こども園丸」も新しいお友だちや保護者の方々、そして職員を迎え、2024年度新しい航海への出発の時を迎えました。これから始まる航海の中、子どもたちはお友だちとけんかをしてしまったりすることがあるかもしれません。また保護者の方々もお仕事やご家庭のことで……。そして職員も。波風のない穏やかな航海を願いつつも、激しい嵐に出会うこともあるかもしれません。新しい港での楽しい出会いや交わりと共に、嵐などの困難もあるかと思えます。しかし、この嵐や荒波もすべて神様はご承知の上のことです。その先の神様の航海計画では、新しい出会いや交わりといった多くの喜びも必ず組み込まれています。イエス様という灯台を頼りに、神様の愛の中への航海を子どもたち、保護者の方々、職員と共にこの「こども園丸」で、共に乗り越え、楽しんでいけることを祈りつつ。

さあ、新しい海に共に漕ぎ出しましょう！ 「ポー！ポー！ポー！」

4月聖句 「新しい歌を主に向かってうたえ。」

<詩編 96 編 1 節>

4月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	はじめまして／よろしくね	出会い
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> * 神様から与えられた大切な存在として育まれる。 * 保育者と一緒に祈り賛美する中で心地良さを感じる。 * 出会いやつながりを感じて、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> * 新しい出会いの中で、毎日祈りと賛美をする生活がはじまる。 * 日々賛美や祈り、聖書の話を通じて。神様イエス様に愛されていることを感じる。 * 新たに出会う保育者や友だちとのかかわりの中で、また、新たな環境の中で安心して過ごす。
讃美歌	「ことりたちは」 こども改10	